

平成 25 年 8 月 27 日

～平成26年3月22日（土）から開館記念展がスタート！～

あべのハルカス美術館・開館記念展を含む3つの展覧会を決定

開館記念展では東大寺の国宝を展示！続いて、日本初公開のミラノ貴族コレクション展、デュフィ展を開催！

近鉄では、平成26年春にグランドオープンする、高さ日本一の300mの超高層複合ビル「あべのハルカス」（地下5階地上60階建て）の建設工事を鋭意進めています。

このたび、あべのハルカス16階の「あべのハルカス美術館」の開館記念展を含む3つの展覧会が決まりましたのでお知らせいたします。

「あべのハルカス美術館」は、国宝や重要文化財の展示が可能な本格的な美術館で、奈良・京都など近鉄沿線の文化財をはじめ、日本・東洋美術、西洋美術、現代アートまで、幅広く多彩な展覧会を開催します。また、大阪阿部野橋駅直上というターミナル立地特性を生かし、仕事帰りの方にもお立ち寄りいただけるよう、平日は20時まで開館します。誰もが気軽に芸術・文化を楽しめる都市型美術館「あべのハルカス美術館」へ、多くの方にお越しいただきたいと考えています。

展覧会の詳細は別紙のとおりです。

～「あべのハルカス美術館」展覧会ラインアップ～

1. あべのハルカス美術館 開館記念特別展 東大寺

会 期：平成26年3月22日（土）～5月18日（日）

主 催：あべのハルカス美術館、東大寺、
朝日新聞社、NHK大阪放送局、NHKプラネット近畿



国宝『誕生釈迦仏立像・灌仏盤』

画像提供 奈良国立博物館（撮影 佐々木 香輔）

2. ポルディ・ベッツォーリ美術館所蔵 ミラノ 華麗なる貴族コレクション展

会 期：平成26年5月31日（土）～7月21日（月・祝）

主 催：あべのハルカス美術館、MBS、毎日新聞社



『貴婦人の肖像』ピエロ・デル・ポッライウォーロ 1470年頃

3. デュフィ展

会 期：平成26年8月5日（火）～9月28日（日）

主 催：あべのハルカス美術館、産経新聞社

< 展覧会概要 >

あべのハルカス美術館 開館記念特別展 東大寺

会 期：平成26年3月22日（土）から5月18日（日）まで

主 催：あべのハルカス美術館、東大寺、朝日新聞社、NHK大阪放送局、NHKプラネット近畿

出品点数：約80点（会期中展示替えあり）

開催趣旨： あべのハルカス美術館の開館記念特別展覧会として、東大寺の宝物展を開催します。東大寺は聖武天皇が創建して以来、1250年近く我が国の宗教的なシンボルであり続けています。新しい美術館の誕生を祝う初回の特別展は、国宝『誕生釈迦仏立像』をはじめ、創建当初の姿を伝える宝物、東大寺の伝統を伝える宝物、数度にわたる被災からの再興の歴史を物語る宝物などを精選して展示し、いつの時代も朝廷・幕府から民衆まであらゆる人々とともにあった東大寺の姿を紹介します。

大阪の新しいシンボルとなる「あべのハルカス」に生まれる美術館で身近に宝物を拝観していただき、時代を超えたすばらしさや作品を生み出した人々に思いを馳せてください。



国宝 『誕生釈迦仏立像・灌仏盤』 東大寺蔵
画像提供 奈良国立博物館（撮影 佐々木 香輔）



国宝 『木造重源上人坐像』 東大寺蔵
画像提供 奈良国立博物館（撮影 佐々木 香輔）



重要文化財 『木造弥勒仏坐像』 東大寺蔵
画像提供 奈良国立博物館（撮影 佐々木 香輔）

ポルディ・ペッツォーリ美術館所蔵 ミラノ 華麗なる貴族コレクション展

会 期：平成26年5月31日（土）から7月21日（月・祝）まで

主 催：あべのハルカス美術館、MBS、毎日新聞社

出品点数：約80点

開催趣旨： イタリア北部に位置し、最先端のファッションやデザインの発信地として知られる大都市ミラノに、「ヨーロッパで最も美しい」といわれる邸宅美術館（ポルディ・ペッツォーリ美術館）があります。この邸宅のかつての主である、名門貴族ポルディ・ペッツォーリ家の末裔、ジャン・ジャコモ・ポルディ・ペッツォーリ（1822-79）は、一族に代々受け継がれ、自らも収集した絵画、工芸品、武具などで邸宅を埋め尽くし、芸術の香りあふれる比類のない館をつくりあげました。この邸宅とコレクションは、主亡きあと、遺言により美術館として一般公開されています。

本展は、ルネサンスから19世紀にいたる華麗なる貴族コレクションの数々を、日本で初めて公開します。ポルディ・ペッツォーリ美術館のシンボルであり、肖像画史上に輝くポッライウォーロの傑作『貴婦人の肖像』も初来日します。一度目にすると忘れられなくなる美しき横顔を、この機会にぜひご堪能ください。



左：『貴婦人の肖像』
ピエロ・デル・ポッライウォーロ
1470年頃



左：『キリストの哀悼』
サンドロ・ボッティチェッリ
1495-1500年



右：『フランチェスコ会の聖人が描かれた
行列用十字架』
ラファエッロ・サンツィオ（帰属）
1500年頃

デュフィ展

会 期：平成26年8月5日（火）から9月28日（日）まで

主 催：あべのハルカス美術館、産経新聞社

出品点数：約130点

開催趣旨： フランスの画家、ラウル・デュフィ（1877-1953）は、明るい色彩と軽快な筆さばきで描く独特の様式を築いたことで知られる、日本でも人気の画家です。

本展は、デュフィが故郷のル・アーヴルからパリに出て、国立美術学校に入学する初期の活動から、晩年に至るまでの生涯を紹介する大回顧展です。初来日となるロンドン：テート蔵の大型作品『馬に乗ったケスラー一家』をはじめ、1937年のパリ万博のために制作された壁画『電気の精』のリトグラフ版（1953年）など、デュフィの重要なコレクションを有するフランスの美術館の協力を得て、油彩、素描、版画、テキスタイルなど、デュフィの絵画世界を紹介します。

以 上

参 考

I. 「あべのハルカス美術館」の概要

1. 「あべのハルカス美術館」の施設概要

- (1) 美術館フロア あべのハルカス 16階
- (2) 施設構成 展示室（約880㎡）、収蔵庫（約130㎡）、エデュケーションスペース、ミュージアムショップ ほか
- (3) 開館時間 【火～金】 10時00分から20時00分まで
【土・日・祝】 10時00分から18時00分まで
- (4) 休館日 月曜日、年末年始、展示替え期間
- (5) 入館料 展覧会により異なります
- (6) 運営主体 近畿日本鉄道株式会社
- (7) その他 展示室には可動壁を設け、自由にレイアウトを変更することが可能
- (8) ホームページ <http://www.aham.jp>（平成25年8月27日14時より公開）

2. コンセプト

Art × Human - あらゆるアートを、あらゆる人に。

- ・ターミナル立地にふさわしい、誰もが気軽に芸術・文化を体験し楽しめる「都市型美術館」を目指します。
- ・国宝や重要文化財の展示も可能な本格的な施設として、上質で快適な鑑賞の場を提供します。
- ・近鉄沿線の文化財をはじめ、日本・東洋美術、西洋美術、現代アートまで、多彩な展覧会を開催します。



上：展示室イメージ（通常時）

右：展示室イメージ（外光取入れ時）



Ⅱ. 「あべのハルカス」概要

所在地：大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43

開業予定：平成26年春

敷地面積：約28,700㎡

延床面積：約306,000㎡

(建設中のタワー館部分：約212,000㎡)

高さ：300m、地下5階・地上60階

フロア構成：(建設中のタワー館部分)

B2-14F

百貨店(約83,000㎡)

16F

美術館

17・18F、21-36F

オフィス(約62,000㎡)

19・20F、38-55F、57F

ホテル(約32,000㎡)

58-60F

展望台

設計：株式会社竹中工務店

外観デザイン監修：シーザー・ペリ氏(ペリ・クラーク・ペリアーキテクト代表)

施工：竹中工務店、奥村組、大林組、大日本土木、銭高組共同企業体



「あべのハルカス」
完成後イメージ